



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月8日

上場会社名 京福電気鉄道株式会社
コード番号 9049 URL <https://www.keifuku.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 憲郎
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 長尾 拓昭
半期報告書提出予定日 2024年11月13日
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 075-841-9385

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	7,298	7.6	1,441	27.9	1,449	26.3	887	10.6
2024年3月期中間期	6,783	2.6	1,127	39.9	1,147	30.1	992	96.3

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 995百万円 (14.1%) 2024年3月期中間期 1,158百万円 (99.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	446.71	
2024年3月期中間期	499.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	22,918	12,730	50.4
2024年3月期	23,002	11,779	46.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 11,560百万円 2024年3月期 10,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		20.00	20.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	1.7	1,740	9.1	1,710	12.1	1,310	37.3	659.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	2,000,000 株	2024年3月期	2,000,000 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	12,721 株	2024年3月期	12,716 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	1,987,283 株	2024年3月期中間期	1,987,403 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(中間連結損益計算書)	5
(中間連結包括利益計算書)	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におきまして、当社グループでは積極的な営業活動により業績の向上に取り組みました。営業収益は7,298百万円(前年同期比514百万円、7.6%増)となり、営業利益は1,441百万円(前年同期比314百万円、27.9%増)となりました。これに営業外収益および営業外費用を加減した経常利益は1,449百万円(前年同期比301百万円、26.3%増)となり、特別利益および特別損失ならびに法人税等を加減し、非支配株主に帰属する中間純利益を控除した親会社株主に帰属する中間純利益は887百万円(前年同期比105百万円、10.6%減)となりました。

次に、セグメント別の経営成績をご報告いたします。

① 運輸業

京都地区の鉄軌道事業およびバス運送事業は、インバウンド観光客などの旅客数が増加、増収となりました。福井地区のバス運送事業は、北陸新幹線延伸開業による首都圏からの旅客数の増加に伴い、京福バス(株)で2024年6月1日から運行受託を開始した「新感覚XRバスWOW RIDE® いこっさ!福井号」や、観光バスツアー「はぴバス」などの新たな取り組みもあり、増収となりました。以上の結果、運輸業の営業収益は3,855百万円(前年同期比273百万円、7.6%増)となり、営業利益は300百万円(前年同期比110百万円、58.6%増)となりました。

なお、京福バス(株)は運転士不足への対応策として、関係行政等と連携の上、一部路線の廃止や減便を伴うダイヤ改正を2024年10月1日に実施しました。

② 不動産業

不動産賃貸業は、2024年7月に高槻市内で賃貸物件ワコーレヴィータ高槻八丁畷町を取得、ボートレース三国ではインターネット投票の売上増により施設賃貸収入が順調に推移したことなどから、増収となりました。以上の結果、不動産業の営業収益は2,782百万円(前年同期比328百万円、13.4%増)となり、営業利益は865百万円(前年同期比126百万円、17.2%増)となりました。

③ レジャー・サービス業

観光需要の回復により、嵐山駅直営物販店舗、ホテル京福 福井駅前、越前松島水族館とも増収となりました。レジャー・サービス業の営業収益は、2023年6月に三国観光ホテルを事業譲渡したことにより750百万円(前年同期比90百万円、10.8%減)となりましたが、営業利益は276百万円(前年同期比77百万円、38.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産は、減価償却による固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ84百万円減少し、22,918百万円となりました。負債は、未払金の支払や借入金の返済などにより、前連結会計年度末に比べ1,035百万円減少し、10,187百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ951百万円増加し、12,730百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,957	2,254
受取手形及び売掛金	1,388	1,488
販売土地及び建物	66	39
商品及び製品	9	10
貯蔵品	47	48
前払費用	38	51
未収還付法人税等	90	—
その他	1,321	990
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	4,917	4,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,958	9,921
機械装置及び運搬具(純額)	1,608	1,569
土地	3,965	4,145
リース資産(純額)	748	610
建設仮勘定	176	183
その他(純額)	650	629
有形固定資産合計	17,107	17,060
無形固定資産	218	228
投資その他の資産		
投資有価証券	441	437
繰延税金資産	73	89
その他	243	221
投資その他の資産合計	758	748
固定資産合計	18,084	18,037
資産合計	23,002	22,918

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21	22
短期借入金	3,217	3,056
リース債務	154	138
未払金	1,053	487
未払法人税等	241	526
未払消費税等	148	195
賞与引当金	203	247
その他	570	480
流動負債合計	5,610	5,153
固定負債		
長期借入金	3,337	2,910
リース債務	653	506
長期未払金	50	50
繰延税金負債	974	960
役員退職慰労引当金	12	11
退職給付に係る負債	298	310
その他	285	283
固定負債合計	5,612	5,033
負債合計	11,222	10,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	313	314
利益剰余金	9,226	10,074
自己株式	△22	△22
株主資本合計	10,517	11,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	201	194
その他の包括利益累計額合計	201	194
非支配株主持分	1,060	1,170
純資産合計	11,779	12,730
負債純資産合計	23,002	22,918

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業収益	6,783	7,298
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	5,617	5,829
販売費及び一般管理費	39	26
営業費合計	5,656	5,856
営業利益	1,127	1,441
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	6	7
助成金収入	19	12
雑収入	16	10
営業外収益合計	43	32
営業外費用		
支払利息	22	24
雑支出	0	1
営業外費用合計	23	25
経常利益	1,147	1,449
特別利益		
補助金収入	82	34
固定資産売却益	15	4
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	99	38
特別損失		
固定資産除却損	7	4
固定資産売却損	12	—
投資有価証券評価損	8	—
特別損失合計	29	4
税金等調整前中間純利益	1,217	1,483
法人税、住民税及び事業税	241	513
法人税等調整額	△123	△32
法人税等合計	117	481
中間純利益	1,099	1,002
非支配株主に帰属する中間純利益	107	114
親会社株主に帰属する中間純利益	992	887

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,099	1,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	△6
その他の包括利益合計	58	△6
中間包括利益	1,158	995
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,050	880
非支配株主に係る中間包括利益	108	114

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	3,568	2,407	807	6,783	—	6,783
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	12	46	33	92	△92	—
計	3,581	2,453	841	6,876	△92	6,783
セグメント利益	189	738	198	1,126	0	1,127

(注) 1 セグメント利益の調整額0百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	3,842	2,727	728	7,298	—	7,298
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	13	55	21	90	△90	—
計	3,855	2,782	750	7,388	△90	7,298
セグメント利益	300	865	276	1,441	0	1,441

(注) 1 セグメント利益の調整額0百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。